

講座名	多様な性を学ぶ講座「周りとは違っていても大丈夫！LGBT入門講座」
<p>【趣旨】</p> <p>性別違和（性同一性障がい）や同性愛・両性愛などの性的マイノリティで生きづらさを感じている人がいる一方で、社会での理解はなかなか進んでいません。多様な性を学ぶことで、誰もが暮らしやすい社会の実現をめざし開催しました。</p> <p>【内容】</p> <p>LGBTとは性的マイノリティの総称ですが、レズビアン（L）、ゲイ（G）、バイセクシュアル（B）、トランスジェンダー（T）以外にもたくさんのカテゴリーがあります。自分の周りにはいないと思っても、人口の約5%はいると言われていて、いないのではなくて言えていない（カミングアウトできていない）だけです。</p> <p>性的マイノリティは、「周りとは違う自分はおかしい」と思い自己肯定感が低くなったり、自殺念慮が高くなったりします。セクシュアリティがはっきりしてくる思春期までに、性の多様性について正しい情報を伝えることが大切です。「周りとは違っていても大丈夫」という肯定的なメッセージを伝えることで自己肯定感と多様性の尊重の心を育むことができます。</p>	
<p>■講師 竹内 清文 氏（レインボーハートプロジェクト Okinawa 代表）</p> <p>■日時 10月23日（月）19時～20時30分</p> <p>■対象 関心のある方 ■参加者 53名 ■託児 1名（当日キャンセル2名）</p>	
<p>【参加者の感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私はLGBTではないけど、小さい頃から何とも言いがたい生きづらさ（周りとは違う）を感じていたので、共感するところがたくさんありました。理解がないせいで、苦しいだれかがいることが普通であってはいけなかったと思いました。“普通”“常識”をやみくもに押しつけてはいけなかったと改めて思いました。シンプルに「相手を大切に思う」その気持ちが大切だと思いました。 ・LGBTの方が思春期にいかに悩んでいるか分かりました。（思春期だけではないと思いますが）その時に周りに理解者がいることが重要だと思えますので、このような講座を開いていくことは非常に有意義だと思いました。 ・子供にあいまいなよく分からない説明ではなく、また差別的な目を持たずに話をするのができそうです。自分が無理して頑張っていると、攻撃的になるということに初めて気づき、周りの人が攻撃的になった時、何を無理しているか考えて接したいと思いました。 ・カミングアウトを受けた側のケアやサポートも大切であるということが心に響きました。私たちの親の世代 50～60代の方たちへの理解が広まってほしいです。私も当事者なので、できることを探したいです。 ・今まで何度かLGBTのお話は聴く機会があったのですが、当事者ご本人のお話は聴く機会がなかったのでとても新鮮でした。見た目ではない本当の“心の目”で人と向き合うことの大切さを感じました。今日は本当にありがとうございました。 	

